

坂の上通信

平成二十九年十一月六日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部（四〇三演習室）

スズメバチ 美高生を襲う

生徒5名 教員1名に被害

9月下旬から10月上旬にかけて、美高では田方方面の一部の通学路が通行禁止となった。それにより、通学路の変更やバスで登校せざるを得なくなり、不便を感じる生徒も多数いた。



ハチ被害が起きた田方付近（駆除後に撮影しています）

そのことを聞いた理科の村井先生が、自転車を回収するため、車で現場に向かった。蜂は黒色を敵とみなして攻撃する習性があるので、先生は頭部に注意していたが、結果として足を刺されてしまった。黒い靴下を履いていたそう。

翌日も生徒が登校中に蜂に襲われたため、その日のうちにその周辺の通行禁止が各クラスで伝達された。学校は広島市教育委員会に連絡し、駆除を要請した。しかし、巣は橋桁の下にあり、簡単に撤去することは不可能だったため、専門業者に依頼する必要がある。それによって通行禁止令が長引いたのだ。

10月13日の金曜日からは14日の未明にかけて、蜂の巣の大規模な撤去作業が行われた。巣は一つではなく、複数発見されたという。

16日の午後には校内放送によってこのことが伝えられ、生徒には普段通りの生活が戻ってきた。

攻撃的なスズメバチ



机の上の美術館

今回は生物基礎担当の杉本先生の机の上を紹介する。下の写真は、2年前、先生が大学3年生の時に手に入れたもので、松山での秋祭りの出店で購入したもの。筆箱の柄が飼っているオカメインコにそっくりだったので思わず買ってしまったそう。

先生が飼っているインコはアメデオという名前だ。名前の由来は「母を訪ねて三千里」に登場する猿だ。本当は小さな猿が飼いたかったが、両親に反対されたのでインコを飼い始めた。この名前にしたそう。アメデオは、自分の名前と目覚まし時計のアラーム音を話せるのだと、先生はうれしそうに語ってくれた。



インコの柄の筆入れ

韓国ホサン高校と交流

10月28日金曜日、韓国のホサン高校の生徒20名と先生が来校し、歓迎会が催された。

会では吹奏楽部が歓迎演奏として「セタ」「ディズレーンメドレー」などを披露したほか、両校の先生や生徒会長の挨拶があった。

講堂での歓迎会の後は、弓道・茶道・書道の部活動体験が行われた。弓道部では、体験として近くから弓を射ち、的を狙った。見事に的に当たった生徒もあり、嬉しそうだった。また書道の体験では、できあがった書道の作品をプレゼントしていた。

翌日の土曜日はグループに分かれて、宮島を案内した。ホサン高校の生徒たちは、鹿や鳥居をながめ、写真もたくさん撮っていた。厳島神社にも入り、初めてのおみくじに興味を持った生徒も多かったようだ。昼食にはお好み焼きを食べ、両国の文化について話した。宮島はあいにくの雨だったが、両校とも楽しく交流を深めていた。



弓道を体験するホサン高生

ミニオープンスクール開催

10月14日土曜日、美高ではミニオープンスクール（MOS）が開かれた。参加人数は約170名で、中学生を中心に例年以上の参加者があった。開会行事では、美高の魅力について教員や生徒会執行部が説明した。文化祭で好評だった「歌リレ」の映像も流され、緊張気味の中学生に和やかな空気を醸成させていた。9月のオープンスクールでは流されなかった。

例年このMOSは10月中旬に開かれている。オープンスクールは8月から9月にかけて行われることが多いので、比較的時間の学校紹介イベントである。合原先生は「MOSが、まだ学校を決めきれない中学生の選択に少しでも役立てばと思います」と語った。

考しより楽しく充実したものにしていきたい、と担当者の合原先生は語った。

例年このMOSは10月中旬に開かれている。オープンスクールは8月から9月にかけて行われることが多いので、比較的時間の学校紹介イベントである。合原先生は「MOSが、まだ学校を決めきれない中学生の選択に少しでも役立てばと思います」と語った。

学校の「顔」にインタビュー



今回は地歴公民科の横山先生にお話を伺った。

寝る高校生でした。高校時代は思い出さずか？

雨の日も風の日も、合羽を着て自転車で通学したことです。

先生になろうと思っ

たさっかけ？

沢山ありますが、一つは、高校の時の授業が面白かったことです。世界史の授業だったの

で、社会科の先生になろうと思いました。

最後に美高生に一言お願いします。

よく寝て、よく食べて、元気に過ごしてください。

編集後記

今回は蜂騒動の記事にした。まとめがいはあるが、似た被害が今後出ないように願う。

美・鈴・鈴・鈴

最近「蜂に刺された」というニュースをよく見かける。美高生も数名被害にあった。何故、最近蜂が多いのだろうか。▼もともと秋は、蜂が最も多い季節だ。オオスズメバチが他の種類のスズメバチの巣を襲い、幼虫などをエサとして持ち去ることが多いため、他の種類のスズメバチたちは神経質になる時期である。さらに、女王蜂の育成期間でもあり、それに伴い巣も大型化し、働き蜂の数も最大となるのだ。結果、活動が活発になり、より気が立つた状態で人間に出会うことになる。▼蜂に刺されたら、アナフィラキシーショックになる可能性がある。極めて短い時間のうちに全身にアレルギー症状が出る反応のことだ。30分以内にほとんど発生するので、その間は経過を注意深く観察する必要がある。▼黒い服は蜂に狙われやすいというが、これは蜂の天敵である熊と同じ色だからだという説が有力だ。安全のため、肌の露出も少なくするとよいだろう。（日高優美）